

令和6年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	たけだ まさや		
氏名	武田 雅哉		
所属・役職	SBテクノロジー株式会社 公共営業統括部 プリンシパルアドバイザー 元 青森県 IT 専門監 (CIO 補佐官)		
活動拠点	東京と札幌の2拠点生活ですが、全国対応可能です。		
略歴	1989年 株式会社ヴァル研究所 1999年 株式会社デジック 2007年 (一社) 北海道情報システム産業協会 理事・事務局長 2015年 (一財) 全国地域情報化推進協会 理事 2017年 (一社) 日本IT団体連盟 事務局長代理 2018年 青森県 IT 専門監 (CIO 補佐官) 2023年 SBテクノロジー株式会社 プリンシパルアドバイザー		
地域情報化の 専門分野・技術	<ul style="list-style-type: none"> ・青森県のIT専門監(CIO補佐官)として、庁内システムの調達、最適化、セキュリティ監査等を実施。特に自治体情報セキュリティクラウドでは7県共同調達を行い億単位のコスト削減を実現。 ・総務省セキュリティポリシーガイドライン検討会、内閣官房サイバーセキュリティセンター重要インフラ調査会など自治体システムのセキュリティについての知見を国に助言。 ・IT業界団体の理事・事務局長を務め、行政と協力して中小企業と地場IT企業のマッチングや、総務省の外郭団体の理事として自治体システム標準化、人材育成を行う。 		
専門分野	オープンデータ AI 活用 生成 AI 活用 計画策定支援 (地域情報化計画・官民データ計画・自治体DX推進計画等) 人材 (DX推進のための機運の醸成) 人材 (DXに関する知識習得・研修・育成) 人材 (外部人材活用) 自治体システムの標準化・共通化 自治体セキュリティ 自治体システム調達/地域情報プラットフォーム テレワーク RPA導入 農林水産業 地域ビジネス		
自治体向けメッセージ	自治体職員、IT企業、IT業界団体事務局長、国の検討会委員などの経験から、各々の立場や考え方を理解しています。しかしながらお互いの想いが一致しない事もあり、それらを調整するとともに、自治体職員が主体となって問題解決できるような仕組みづくりを行います。複数自治体による共同調達、システム統廃合などコスト削減とBPRを進めるためのお手伝いができればと思います。		
関連サイト			
地域情報化に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	<ul style="list-style-type: none"> ・(一財) 全国地域情報化推進協会 地域情報化人材WG委員 (2008年~2017年) ・(一財) 全国地域情報化推進協会 理事 (2015年~2017年) ・都道府県CIOフォーラム 運営委員・会長 (2019年度~2022年度) ・総務省 地方公共団体における次期情報セキュリティクラウドの検討に係るワーキンググループ 構成員 (2020年度) ・総務省 地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン 構成員 (2021年~2022年度) 	

		<ul style="list-style-type: none"> ・内閣官房 サイバーセキュリティ戦略本部 重要インフラ専門調査会 委員 (2022 年度) ・国際 CIO 学会 評議員 (2022 年度) ・地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業 (地方公共団体のDX関係) アドバイザー (2023 年度～)
	<p>これまで に 関 与 し た 地 域 情 報 化 に 関 する プ ロ ジ ェ ク ト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あおり ICT 利活用推進プラン (2019-2023) ・青森県 DX 推進方向 (2022 年度) ・青森県庁内にある情報システムの最適化、評価、投資判断、調達に係る技術的助言・指導およびセキュリティ監査の実施。 ・自治体情報セキュリティクラウドの更新において東北 6 県及び新潟県をまとめ共同調達。 ・ガバメントクラウド先行事業としてセキュリティシステム導入をデジタル庁と調整。 ・青森県内の市町村に対して自治体クラウド導入支援。 ・国の検討会の委員として、自治体システムのセキュリティと利便性について助言。 ・IT 業界団体の理事・事務局長として、自治体と地場 IT 企業のマッチング、自治体システム標準化の取りまとめ等。